

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
アプリ児童デイサービス 若宮町		2026年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	1	障害の持つ重さにより、職員の必要人数を変えている	怪我、事故を防ぐために、職員の数の上限を増やしたい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	区切られた場所がないので、事務所を活用している	フロアに個別に過ごせる部屋がないため、パーティションで区切り場所を作っているが、個室の必要性を感じる
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		毎日の振り返り時間を持ち、スタッフ全員で意見交換をし、ご利用者の方達の様子を確認している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		スタッフノートを活用し、全員周知できるよう伝達している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		見学や、会議等で来られた方の感想を参考にさせていただいている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		事業所での研修会が開かれている。内容に関して参加できていないスタッフへ、回覧、口頭で伝えている	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		ミーティング時間に周知できるよう努めている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		何を目標にしているか、アプローチ方法を共有している	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		児童さんの行動観察を毎日の振り返りで記録に残すこととしている	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		マンネリ化しないように、日々知恵をだしあい検討し行っている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		人数、時間、スタッフの数、状況により、できる事を考え、サービスの提供をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		児童さんの持つスキルや、特性に応じて対応を考えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		日々の確認は必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		情報共有を含め、必ず行い記録している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		検証、改善方法などの話し合いを必ず行い記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		児童さんそれぞれの成長具合に合わせた支援を行っている	(基本活動)①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		本、筆記用具、おもちゃなど、児童さんのやりたい気持ちを活かし、自身で手が届くよう、危険のないように設置している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		送迎時間を利用するなどして、学校担任との情報共有を心がけている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時、連絡帳、電話連絡を用いて、気になる所、成長している点などの共有を行っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		ご本人や、ご家族の意向に添った支援をするために、児童さんの気持ちや、保護者の方の気持ちを常々お聞きしている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		対面して、わかりやすい言葉でお伝えするようになっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		ご相談も多くもちかけられるので、アプリを利用している様子を元に、解決に向けて一緒に考え、方法を見つけられるようにしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	3		保護者の方たちの交流の場を設けてみたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		聞き取りを行い、素早い対応を心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		ブログ更新を頻繁に行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		個人情報につながるものが記載されている場合、シユレッダーにかけ廃棄している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		筆談や、うなずきなどの方法で意思確認や、思いをくみ取れるようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	てんかんの児童さんに対して個々の対応や、救急車呼び出し対応は、わかりやすいように壁面に貼り付けている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	災害時の車への乗り込みを定期的に練習している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		全スタッフ情報共有できるようにしている。 服薬については記録を残している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		アレルギー対応の間違いないように、おやつは表を作成し、専用のボックスに保管。名前を記載したプレートを付け、スタッフが手渡ししている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		詳しい情報を聞き取り、対策を考え、同じことが起きないように回覧している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				